

～開業奮闘記～

誰が興味あるねん

八 治 電

第46話 「AirDrop にまつわるエトセトラ 2」

前回からの続き

前は笑い飛ばせるAirDropの話でしたが、今回は身の毛もよだつ恐ろしい体験を・・・ **怖いな怖いな・・・。**

これは3年前、コロナ禍真っ只中で出張に行った時の事。

山梨県の奥地にある歯科医院に立ち会いに行く事になり、そのクリニックに行くために「富士急行」という電車に乗ったんです。

この富士急行は全線が「単線（ある駅から次の駅に向かう列車と逆の方向に走る列車が、同じ線路を共用して走る事）」となり、コロナ禍ならずとも非常に乗っている人が少ない路線です。

ちなみに7年前にこの富士急行に乗った時は、まだ「駅員さんが切符を切る」という方式が採用されていてかなりビックリした記憶があります。

今回もほとんど乗客がおらず、「いや～たまには都会の喧騒を離れてこんな電車に乗るのもええなあ・・・」と思いながら電車旅を楽しんでいたんですが、急遽やらないといけない仕事を思い出し、パソコンを広げて作業していた時の事です。



パソコンからスマホにデータを送るために AirDrop を使って転送しようとしたら、送り先の候補名に私の「A.MURATA」という名前の下に『**ポ●チンスレイヤー**』というユーザー名が・・・！！

ビックリして周りを見渡すと、列車の中には僕以外に3人の乗客がいる事がわかりました。

一人は50代前半と思われる紳士的な男性、もう一人は50代後半の主婦と思われる地味な女性、もう一人は60代後半と思われる上品な白髪の女性・・・。

どうやらこの中に『ポコ●チンスレイヤー』がいるらしいのです・・・。

ちなみに『スレイヤー (slayer)』とは、「殺害者」「殺人者」「凶漢」といった、暴力的な方法で生き物を成敗する人を意味する英語表現です。若者が面白がってユーザー名をこのようにしているならわかりますが、その3名の中にはそのような事をするように見える人はおらず・・・。

めちゃくちゃ不気味ですし、**本当に『●コチンスレイヤー』がいたなら、俺は成敗されてしまうのか・・・？**

その場合、**俺自体が成敗されるのか・・・それとも俺の一部だけなのか・・・??**

・・・いづれにしても絶対嫌や・・・！！ いや、むしろ後者の方が嫌や・・・。

と震え上がっているうちに、幸い自分の降りる駅に着いたので（少し内股で）逃げるように降りて行き、なんとか成敗される事は免れた次第であります。

思い出はいつの日もビターです。

余談ですが、「鬼滅の刃」は英語では『Demon Slayer (悪魔を成敗する者)』というタイトルとなります。

もしかしたらあの富士急行が・・・本当の『無限列車』だったのかもしれない。